



アスファルト防水 冷熱併用工法

# ストライプ工法

駐車場仕様 アスコン舗装仕上げ

※ 仕様表のなかで緑文字で表示してあるものは改質アスファルトを用いたルーフィングです。

アスコン舗装仕上げ

**冷熱併用工法**

ストライプ工法

**PKX-920**

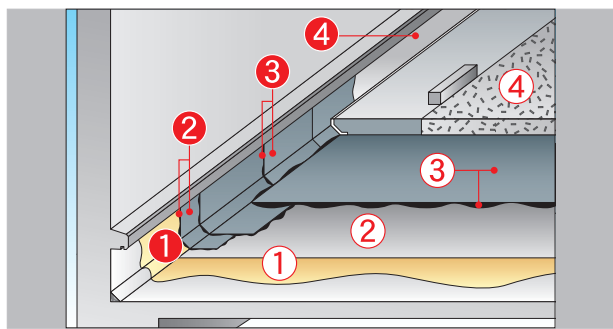
適用部位：直下階 店舗・住居

重量  
6.5kg/m<sup>2</sup>

CASEFILE

資源の再利用

有害物質



		立上り部 PKV-920
1	水性プライマーAS 0.2kg/m <sup>2</sup>	水性プライマーAS 0.2kg/m <sup>2</sup>
2	強カストライプZ	ガムトップ 25 ガムタイトクリーン・流し貼り 1.2kg/m <sup>2</sup>
3	ガムトップ25 ガムタイトクリーン・流し貼り 1.2kg/m <sup>2</sup>	ガムトップ 25 ガムタイトクリーン・流し貼り 1.2kg/m <sup>2</sup>
4	アスコン舗装	保護塗料 (オプション)

### 【駐車場防水設計上の留意点】

#### 1) ストライプ工法・絶縁工法で通気システムをとる

下地の乾燥期間が標準でも、特に構造体がデッキプレートの場合の乾燥は望めません。また、アスコン工事は防水層がふくれの発生しやすい条件となるので、ストライプ工法・絶縁工法をおすすめします。

#### 2) 室内、斜路の防水は密着貼りとします

地下駐車場など室内の場合は一般に密着工法とします。スロープも、ずれを防止するため密着貼りとします。真空コンクリートのずれは躯体及び真空コンクリートでの対応で防止してください。

#### 3) アスコンの厚さは、50mm以上にしてください

アスコンが50mm未満では、ふくれを抑えにくく、亀裂も生じやすくなります。また、下地防水層の段差の影響が表面にでやすいなどの支障をきたします。

#### 4) 立上り際は押えコンクリート打設が望ましい

立上り際までアスコン舗装を行うと、転圧や締め固めが不十分になりやすく、また注意しないと防水層を傷つけやすくなる場合があります。

・保護材のオプションとして、「バリスター」を使用する場合はご相談ください。

・コンクリート保護とする場合は、JPX・PXタイプの仕様からお選びください。

・ここで対象とするアスコンは日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS8 (2000)」に記載されている一般的な密粒度アスファルト混合物並びに粗粒度アスファルト混合物とします。

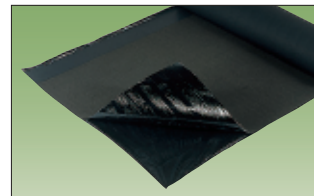
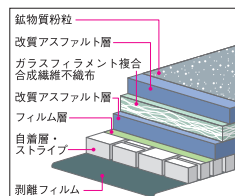
・季節・立地条件によって、三星水性プライマーASのかわりに三星アスファルトプライマーか三星アスファルトプライマーSSを用いることもある。

・貼仕舞は強力ガムシールで処理する。

### 強カストライプZ

改質 絶縁 粘着

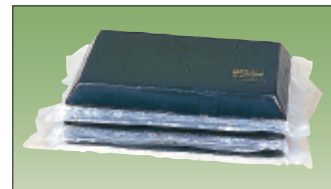
改質アスファルトルーフィングの裏面の自着層がストライプ状になっています。しかも、ふくれ防止絶縁機能と中貼材の機能を併せもつ高機能ルーフィングで、1工程で2層分の施工ができます。



●1m×16m ●1.4mm厚 (厚みには粘着層含まず) ●28kg/巻

### ガムタイトクリーン

従来の防水工事用アスファルトに比べ、高温特性・低温特性を大幅に向上し、広い温度範囲で安定した性能を発揮する防水工事用改質アスファルトです。非常に耐久性の高い特殊ポリマーをブレンドし、安定した性能を長期間維持します。ACS・クリンケトルと組み合わせて使用することで、作業環境から大幅に臭いと煙の発生を減少させることができます。



●10kg/袋